

Mini-WAN

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(No.202)

三河港湾事務所だより

2024年7月号

「春のビジネスパーク」に講師として参加しました

6月4日(火)・5日(水)に、豊橋商工会議所主催の「春のビジネスパーク」に講師として参加し、豊橋市立南陽中学校と吉田方中学校にて授業を実施しました。

授業では、港湾には貿易の玄関口や産業立地の場、防災などの複数の役割があり、人々の暮らしを支える不可欠な存在であることを紹介しました。また、地元の三河港の特色は、何と言っても完成自動車の取扱いが非常に多く、輸入台数は国内ダントツの1位であり、輸出台数は国内2位であることを説明しました。その他にも国土交通省の業務内容や、この職業を選んだ理由等についてもお話ししました。

生徒の皆さんは一生懸命にメモを取りながら真剣に聞いていました。また、港湾工事の大変さを想像してもらうために、消波ブロックの模型を積んでもらったところ、苦戦しつつも積極的に楽しんで取り組んでいました。

生徒の皆さんには、この授業を機会に普段なかなか馴染みの薄い港に関心を持ってもらえると嬉しいです。何より、この授業が将来の職業・職種を考える一助になれば幸いです。

ビジネスパークとは：

豊橋商工会議所主催。豊橋市のキャリア教育の一環として、地域で働く大人たちが職業の内容や地域における職業の役割、働くことの意義などを中高生に伝、え若者が将来を考えるきっかけを作り、夢の実現に貢献することで未来の地域活性につなげることを目指しています。

三河港湾事務所では、港に関する出前講座や三河港・衣浦港の見学の受け入れも行っています。興味がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ連絡先

電話番号：0532-32-3251

e-mail：pa.cbr-info-mikawa@mlit.go.jp



春の530運動を実施しました

5月30日(ゴミゼロの日)を含む10日間は、豊橋市の530運動環境協議会が提唱する「春の530運動」の期間です。当事務所でもお昼休み時間を利用して取り組みました。

事務所周辺の歩道や神野ふ頭緑地公園をまわり、ペットボトルや空き缶、プラスチック容器などを回収しました。ゴミのポイ捨てを無くすためには、こうした活動の取り組みを広げ、企業や学校など各団体での清掃活動を通じて、一人ひとりのゴミを捨てない意識作りをしていくことが大切であると感じました。

530運動が豊橋市で生まれた経緯と運動の目的/豊橋市
(toyohashi.lg.jp)



三河港湾事務所ホームページ <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>

三河港湾事務所公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>



みかわこうわん

三河港湾

検索



国土交通省 中部地方整備局

三河港湾事務所

公式Facebookページ



ドローン習熟訓練を実施！

国土交通省ではより効率的で安全な暮らしの提供のため、ドローンの活用を推進しており、様々な分野での活用が考えられています。

中部地方整備局でも災害対応で活用しており、能登半島地震の際もドローンを使った調査が行われました。

災害現場では、ドローンを活用することで、調査員が進入できない危険な現場でも現地調査を行うことができます。

また、空からの調査では、陸から現場に向かうよりも早く調査を行うことができます。

ドローンは被災地での迅速な被災状況の調査や、危険な災害現場での2次災害を防ぐために活用されています。

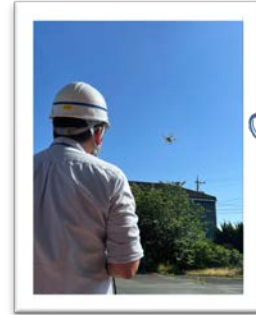
災害対応以外にも、輸送や施設管理など様々な場面で活用されています。興味のある方は国土交通省のドローン活用事例をご覧ください。

〈国土交通省 ドローン活用事例〉

(<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/gijyutu/content/001510876.pdf>)



能登半島地震での活用事例



三河港湾事務所では、ドローンに関する知識や操縦技術を備え、現地で安全に飛行させられる担い手の確保のため、ドローン習熟訓練を実施しています。



7月15日は「海の日」ですね！3連休を楽しみにしている人も多いのではないのでしょうか？そこで今回は海の日に開催予定の海辺のイベントを紹介したいと思います。

【その前に・・・「海の日」について知っていますか？】

「海の日」とは、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」日とされ、国民の祝日となっています。今は7月の第3月曜日ですが、制定された当初は7月20日でした。

その由来は1876年まで遡り、1876年7月20日明治天皇が船によって東北から横浜へ無事到着されたことに由来しています。この出来事を記念して、7月20日が「海の記念日」に制定され、その後国民の祝日「海の日」となりました。2003年から「海の日」は現在の7月の第3月曜日となり、3連休化されました。

「海の日」をきっかけに、海辺のイベントへ出かけてみてはいかがでしょうか？

＜豊橋みなとフェスティバル2024＞

「みなと」に親しんでもらうとともに、「みなと」の重要性や役割、港湾整備への理解を深めてもらうことを目的に、毎年海の日に開催されています。今年は、時間帯が夕方となり

「みなと縁日」「eスポーツ体験会」や、名古屋港湾事務所の海洋環境整備船【白龍（はくりゅう）】の一般公開もあります！

当事務所もブースを出展しますので、ぜひ足をお運びくださいね。お待ちしております。

日時：令和6年7月15日（月・祝 海の日）16:00～21:00

場所：ポートインフォメーションセンター カメラアワー帯
（豊橋市神野ふ頭町）

詳細はこちら：豊橋商工会議所HP

(<https://www.toyohashi-cci.or.jp/event/>)



昨年の様子

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おおいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間※ 9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。

国土交通省
中部地方整備局



三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL 0532-32-3251

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL 0569-21-2311

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>